

出かけてみました

食べて

歩いて、台北を満喫

日野正子（協力会員）



5月のゴールデンウィーク後半に薬剤師の娘と2度目の台湾観光に出かけた。前回は2000年で、陳水扁が国民党の連戦と親民党の宋楚瑜を破って、台湾に初めて民進党の総統が誕生した直後の盛夏であった。台北↓花蓮↓高雄↓台北と「走馬看花」、大忙しの旅だったので、今回は台北の街歩きにした。

ホテルは「台北車站」駅に隣接する天成大飯店で絶好のロケーション。交通手段は、市内を東西南北に貫くMRT（台北大衆

捷運系統）を利用。JTBのサービスについてきた「悠遊カード」（台湾版Suica）が大活躍した。

初日、13時半に市内の松山空港着。15時にはもうホテルに荷物を置いて、MRT信義線「東門」駅にある小籠包で有名な「鼎泰豊」に直行。期待どおりの懐かしの味！旅は好調に滑り出した。

ここ永康街はおしゃれとグルメの人気スポットだが、もともとは閑静な住宅街である。日本

家屋が多く残る青田街あたりまで散策した。日が暮れた頃「思慕昔（スモージー）」でマンゴーかき氷を食べてから、信義線に乗り「台北101」駅で下車し、市街を一望できる「台北101」（高さ509・2m）の展望台に登った（裏表紙）。天気が良ければ日暮れ直前に登って、街の灯が徐々にについていく夜景を眺めたらそれは素晴らしいと思う。1999年夏の函館の夜景、2001年夏の香港の夜景に思いを馳せた。どちらもこの娘と見ている。上の私の写真の背後は、風による振動を緩和するために設置された重量660トンの巨大なTMD（チューンドマスタダンパー）で、隣はマスケットキャラクターのダンパー君だ。

さらにタクシーで「饒河街観光夜市」へ。思い切って屋台に立ち寄り、匂いで有名な「臭豆腐」を食べてみたが、それほど臭くなくて美味しかった。帰りは台鉄「松山」駅まで歩き「台北車站」駅まで戻った。

2日目、朝。MRT淡水線



開店準備の女性たち

「中正記念堂」駅で下車し、台北の台所「南門市場」を覗いた。まだ準備中だったようで、奥では肉を捌いたり、女性たちが中華粽を作ったりしていた。そこから徒歩で「台北植物園」へ。道中オートバイが多いことに気づいた。「台北植物園」の緑の美しさは格別であった（裏表紙）。さらに徒歩で剥皮寮エリアを抜けて「竜安寺」へ。

MRT板南線で「竜安寺」駅から「西門」駅へ。周辺をブラブラして「西門紅樓」（日本統治時代初期のレンガ造りの建物）を撮り、名物屋台の「阿宗麵線」



西門紅樓

で麵線（台湾独特の細麵）を立ち食い。スターバックスで一休み。

午後からはそれぞれ単独行動の予定で、6時にホテルの部屋で合流することに決める。娘はここでギブアップ宣言をし、ホテルにひとまず戻った。彼女は台湾は3度目で、9年前に持ち帰った500元札が使えなくなっていたので、午後は台湾銀行まで両替に行った。

午後、一人で少々心細かったが、板南線「西門」駅から「台

北車站」駅で淡水線に乗り換えて「双連」駅で下車し、駅から歩いて、台北市内で最も古い町並みの残る迪化街へ行った。漢方薬や乾物、伝統的菓子や衣服などの問屋が並び、独特の強い香りが漂っていた。2001年の盛夏に2人で香港観光をした折に、上環の海産物問屋街を通った時、娘は強烈な海産物独特の匂いと暑さと喧騒に耐えられず、スターバックスに逃げ込んだのだった。100もの店舗があるという布市場「永楽市場」でトイレを拝借。このあたりで足がひどく痛みだし、スニーカーにするべきだったと後悔。

夕食はMRT「中山」駅新光三越の「欣葉」で台湾料理。さすがに疲れて、MRT淡水線「劍潭」駅まで出かけての「士林觀光夜市」見物を取り止めに。「台北車站」駅に向かう車中、障がいのある青年を連れた中高年の婦人が乗ってきた。すると1人のおばさんが、まず青年に自分の「博愛座」（シルバーシート）を譲り、さらに連れの婦人

を、出口を挟んだ席列の中ほどの一つ空いた席へとさっと案内した。青年はじっと座って待ち、婦人は荷物の整理に忙しく、互いに離れて座っているが、自分の今できることに一心不乱であった。この思いがけない穏やかな光景に、自分の足の痛みが気にならなくなった。

この日、娘は約2万6000歩、私はおそらくそれ以上を歩いた。

3日目、朝。MRT淡水線「双連」駅を出てすぐの遊歩道沿いに立つ朝市「双連市場」に出掛けた。地元の人々向けの市場で、ちょうど高知市の城に向かう道沿いに立つ「日曜市」に似て、日常生活に密着した活気にあふれていた。戦後台湾の食生活を改善した立役者といわれる養殖魚の「テラピア」を売っていた。市場の中ほどに、学園の神様である文昌帝君を祀る「文昌宮」がある。通りの丁字路に1人、黄衣の僧が立っていた。無頓着に傍を動く人波の中で、お坊さんはひたすら修行に



市場に立つ僧侶

励んでおられるようだった。10時になると、道の片側の屋台はサーっと片付いてしまった。

そこから、面白い台北土産を探しに、地元の人々が利用する激安生活雑貨店「勝立生活百貨」まで歩き、最寄りのMRT新蘆線「行天宮」駅から「古亭」駅へ。台北散策の最後は、駅近くの「福州乾拌麵」で昼食に乾拌麵（汁無し麵）を食べた。

道中一度も陽が射さず、傘の手放せない天候ではあったが、よく食べ、よく歩いて、いい旅だった。